令和８年度　　草津東高等学校　　学校評価

本年度の重点目標

「持続可能な共生社会の担い手となるグローバルシチズンの育成」

【学びの保障】
(1) 学びの基盤となる学力の確保と向上
(2) 主体的に学び、深い学びに導く授業づくり
(3) 広い視野を持ち協力・協調・協働して共に学びあう資質育成

【育ちの保障】
(1) 規律ある学校生活の確立と健全な心身の育成
(2) 自己理解・他者理解を深め、自己肯定感と自己管理能力を高める
(3) 平和・人権・共生への意識高揚と次世代の担い手としての資質育成
スポーツ、文化・芸術、科学等を通して国際理解を深め国際貢献へ

【進路の保障】
(1) 生徒・保護者の期待と信頼に応える進路指導
生徒一人ひとりが自らの可能性を拓き、望ましい進路を実現できるきめ細かな進路指導
(2) 学問・職業に対する視野を広げ、持続可能な社会（ＳＤＧｓ）の担い手として他者と協力・協調・協働し て社会貢献できる資質・能力の育成

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	次世代育成を目指し生徒が意欲的に知育・徳育・体育に励むことができる教育を推進して実践に努めている。	B		
	生徒・保護者の要請に応える魅力ある教育を展開している。	B		
2　学習指導	授業を大切にし、生徒の意欲や興味関心を高めるために積極的な取組を行っている。	A		
	個々の生徒の学力や進路希望に合わせ、補習授業や個別指導等きめ細かな指導を行っている。	A		
3　生徒指導	基本的な生活習慣を確立するための不断の努力を行っている。	A		
	社会規範や集団の一員としての資質を培い、共に支え育ち合う生徒集団づくりに努めている。	A		
	いじめを許さない学校づくりに努め、生徒のＳＯＳをいち早く把握して迅速に対応している。	A		
4　進路指導	持続可能な社会の担い手として生徒の生涯を見据えた進路希望を実現すべく、きめ細かな指導を行っている。	A		
	積極的な情報提供に努め、適性に応じた進路指導を展開している。	A		
5　特別活動等	部活動を通じて生徒の人間形成を図るとともに、部活動の活性化に積極的に取り組んでいる。	A		
	学園祭などの生徒会活動を活性化させ、生徒の帰属意識を高め自主活動への意欲を向上させている。	A		
6　学校図書館	総合的な探究の時間や本derful！講演会等を通じて、生徒が図書に触れる機会を設けている。	A		
	図書新聞発行や図書委員会活動を通じて、図書や図書館についての情報発信に努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康と安全に対する意識を高める指導を行っている。	A		
	カウンセリング等を通して、個々の生徒に適切な支援ができるよう組織的に取り組んでいる。	A		
8　人権教育	教科やホームルーム活動、総合的な探究の時間を通して適切な人権教育に努めている。	A		
	映画鑑賞や講演会を開催して、人権を尊重できる人間の育成を目指している。	A		
9　環境教育	ゴミの分別をはじめとする環境美化活動を積極的に行っている。	B		
10　事務・管理	施設・設備等を適切に維持・整備している。	B		
	校内外の防犯・防災対策等、危機管理への対応を常時図っている。	B		
11　その他 学校の取組	授業の改善・改良を目指し、研究授業・公開授業を実施し、授業の質・内容の充実に努めている。	B		
	体育科の更なる充実を図るため、大学や小学校等との連携などの取組を進めている。	A		
	ホームページ、広報、メール配信等により、日常の教育活動の情報を保護者・地域にわかりやすく提供している。	B		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.kusahiga-h.shiga-ec.ed.jp/